

内海小かわら版

4月号

令和3年度第1号 4月7日発行

E-mail utumisho@minamichita.ed.jp

U R L <http://minamichita.ed.jp/~utumisho/>



本年度の内海小学校の教育について



校長 永井孝夫

年度を明けてもコロナ渦（第4波への警戒）が続く中、4月6日（火）は、**きらきらの1年生29名**を迎え、春の陽気の下で入学式を行うことができました。感染症対策で室内での動きにご配慮をいただきましたが、新入生一人一人の「はい」という元気な返事が体育館の外まで響き、このような状況だからこそ、より一層喜びが感じられました。新1年生として、自分なりのペースで小学校の生活に慣れ、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

今年度の全校児童は微減の**203名**です。始業式式辞では、「きらきら」を大切に、自分なりの目標を立てようと話をしました。感染症対策が長期戦となる中、教育活動における想定をより多くし、子どもたちのために、全力で教育活動に取り組んでまいります。本年度もよろしくお願いいたします。

令和3年度 本校の教育目標

人間性豊かで 自己のもつ能力を最大限に発揮できる 心身ともに健全な子どもの育成

めざす児童像

考える子ども...いろいろな考えを認め、自分なりの考えをもつ子
明るい子ども...夢をもち、素直で、仲良く助け合う子
元気な子ども...粘り強い心とじょうぶな体づくりに励む子

<校訓>

「よく考え 明るく
たくましく」

本年度の重点努力目標に対する方策（下線部は、昨年度との変更や追加点）

《豊かな人間性の育成》

- ◎言葉を大切にする指導を心がけ、個の違いを認める温かい関係や思いやりの心を育てる。
- 学級・縦割り班・通学班での主体的な活動を工夫し、コミュニケーション力の育成に努める。
- 社会体験、自然体験、奉仕・生産体験など児童の心に響く、豊かな体験活動を推進する。

《資質・能力の育成》

- ◎教育活動全体を通して、主体的・対話的な学びを保障し、ICT機器活用を推進する。
- 学習規律・家庭学習習慣の確立を通して、学びに向かう基礎基本の定着を図る。
- 朝読書、読み聞かせ、家庭読書を推進し、読書習慣の定着を図る。

《たくましい心身の育成》

- ◎心のこもったあいさつ、見通し、整理整頓、東京オリンピック・パラリンピック教育の理念等の推進を図る。
- 体育的活動を効果的に位置づけ、運動の楽しさや仲間と活動する喜びを味わえるようにする。
また、食育・健康教育（新しい生活様式）を通して、健康増進に向への知識・意欲を高める。
- 地域と連携し、日常の安全指導や防災学習を通して、
危機回避および対応力の向上を図る。

《その他》

- ◎教員自身が生き方のモデルとして生き生きとできるよう、
学校業務の適正化に努める。
- 教職員間で、適確な情報の共有を図り、組織の強化に努める。
- PTA・家庭教育を推める会、内海保育所・内海中学校・町内小学校ならびに地域・関係機関との連携を深め、地域とともにある学校として教育活動の充実を図る。



危機管理（防災・防犯、感染症対策など）上、年度当初の教育計画を大きく変更する場合があります。適宜情報発信に努め、保護者・地域との協働体制に努めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（校長）

